

研究課題名	腫瘍性低リン血症性骨軟化症における原因腫瘍の分子生物学的検索
研究の意義・目的	腫瘍性低リン血症性骨軟化症の原因となる腫瘍では、血中リンを尿から排出する因子である FGF23 を分泌することで低リン血症性骨軟化症の原因となります。この腫瘍の発生は極めて稀であり、どのような性質の腫瘍にどのような変化が起こっているか、まだ詳細は不明です。本腫瘍と、同じ種類の組織で骨軟化症とならない腫瘍の遺伝子とを比較する事で、低リン血症の原因となる変化を突き止めようとしています。もし、病気を引き起こす違いが見つければ、診療に生かすことができます。しかし、それらの変化が確実にわかるとは限りません。はっきりとした結果が得られない場合には、より診断技術を向上させ、新しく原因となる遺伝子を探し出すなどの努力を続けていきます。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日 ~ 2028年3月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2000年1月~2023年7月に大阪公立大学医学部附属病院の内分泌・骨・リウマチ内科へ、腫瘍性低リン血症性骨軟化症のため受診された方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 試料：腫瘍性低リン血症性骨軟化症の原因と考えられて摘出された腫瘍組織 診療情報：診断名、年齢、性別、血液・尿検査データ、病理検査結果
試料・情報を利用す る者の範囲	この研究は大阪公立大学医学研究科血管病態制御学で行います。 研究責任者：今西 康雄 (血管病態制御学) 研究分担者：永田 友貴 (血管病態制御学)
試料・情報の管理に ついて責任を有する 者の研究機関の名称	公立大学法人大阪、大阪公立大学医学部附属病院
本研究の 利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 血管病態制御学 (担当者氏名) 永田 友貴 電話番号：(06) 6645-3931 メールアドレス： yuki.nagata@omu.ac.jp